

御用掛
御用掛
御用掛
御用掛

八年一月十日

大隈参議

御用掛

轍輔

堂

河路

昨九日延遼館ニ於テ會筵之節答辞別紙之通ニ
候間供高覽候也

番地
番地
番地
番地

北地事類

八年一月十四日

大隈參議(大隈)

御用掛(平井)

河

(河)

本月九日於延遠館御饗宴之節祝辞七通並出席
人名録共取束供御一覽候也

藩地事務

藩地事務局

我討蕃之師爰ニ其功ヲ奏シ清國ノ交際終ニ平
和ヲ全フス是陸海軍ノ威武及ヒ諸君ノ功績ニ
籍ラスンハ馬クソ能ク此ニ至ラン洵トニ國
家ノ幸福ト謂フ可シ實美等茲ニ宴ヲ開クモノ
ハ固ヨリ其勞ヲ慰ムニ足ラスト雖モ聊カ祝意
ヲ表セントス諸君其レ能ク歡ヲ盡セ

明治八年一月九日 三條實美

島津久光

岩倉具視

藩地事務局

藩地事務局

客年討蕃、義舉我陸海軍能く其功ヲ奏レ本日
盛宴ノ寵招重信等亦其中ニ與カレ況開陽ノ佳
辰ニ會レ皇運ノ更張ニ遇フ謹テ
皇帝陛下ヲ祝ヒ奉リ併テ三公閣下ヲ賀シ且兩
軍ノ威武益々旺盛ナランコトヲ祈ル

明治八年第一月九日 大隈重信等敬白

北
地
事
務
局

辨理大臣全権公使既ニ使命ヲ復シ事務都督
次テ凱旋ヲ奏ス對清ノ紛議始テ消シ處蕃ノ
大局全ク了ス是レ大臣公使都督功勞ノ致所
ト雖モ抑

天皇陛下ノ盛徳ト名相各位ノ輔翼ニヨル誰カ
之ヲ感戴セザランヤ今ヤ此好新年ニ遇ヒ今
月今夜此ノ盛宴ニ陪スルヲ辱レ吾輩ノ幸榮
何ヲ以テ之レニ加ヘン茲ニ敬シク

天皇陛下ノ聖壽萬歲ヲ祝シ奉リ謹テ三公閣下

蕃
地
事
務
局

ノ厚誼ヲ謝ス

紀元二千五百三十五年一月九日

全権辦理大臣随員 等 謹白

蕃地事務局

曩ニ討蕃ノ舉アルヤ 從道 都督ノ命ヲ辱フス 敬
 月間遠ク蕃地ニ露營シ 聊カ職務ヲ盡スノミ 頃
 口清國トノ葛藤和平ニ 歸ス是全ク
 天皇陛下ノ盛徳及ヒ 諸公廟堂規畫ノ 宜キヲ得
 ルトニ 因テ 致ス所ナリ 則チ 陸海軍武威モ 亦一
 層宣揚ヲ 得タリ 茲ニ 盛宴ヲ 賜フ 何ノ 榮カ之レ
 ニ 若カン 敬ンテ 祝卮ヲ 酌ミ
 國光ノ 益々 照耀スルヲ 祈ル

西郷從道敬白

蕃地事務局

新編 皇朝 通志 卷之三

千八百七十五年一月九日 延遼館ニ於テセ
子ラールレセンドルノ祝詞

今般台湾ノ役日本海陸両軍ノ功名ヲ得ル端緒
トナリタリ而メ海陸軍其事ヲ成スヤ遠ク本據
ヲ離レ且ツ能艱難ニ堪ベ實ニ十辛萬苦ヲ経テ
終ニ能功ヲ遂ケタルハ日本帝國ノ歴史ニ於テ
未タ其類ヲ見サル所ナリ抑モ海陸軍ノ外ニ在
ル五ヶ月國內ノ人民ハ忠義ノ心易ルヲナク其
凱陣ヲ待テ而メ政府ハ外ヨリ漫リニ干預妨害

善也 事務局

舊地事務

スル者ヲ處スルニ始終堅忍シ且ツ交際ノ術ニ
長レタルヲ以テ此功ヲ奏シ得タリ然ルニ今ヤ
始メテカ劔ヲ空ニシ蔵レテ再ヒ太平ノ氣象ニ
復レタルヲ以テ余輩此幸福ナル時ニ際シ文事
ニ從事レテカラ之ニ盡ント欲ス而メ今日余輩此
席ニ會同シ過去ヲ祝シ尚ホ開明ナル未來ヲ思
ヒ以テ

天皇陛下ノ安寧ヲ祝シ奉ル

日本國ニオキテ報國ノ赤心勃々タル諸君ヲ招
キ今日此祝宴ニ會セラレタル實ニ欣喜ニ堪サ
ルナリ予今御座外國人一統ニ代リテ三公閣下
ノ好意ヲ謝シ奉ル

ボアソナート

舊地事務

本月九日ノ宴會ニ際シ吐露セシ意見

古ヨリ日本國人ノ雄悍ナルハ衆ノ着目スル所ト雖モ今度更ニ擢拔ノ名ヲ得タリ抑蕃地遠征ノ起原ハ國ノ名譽ヲ保護スルノ企テニシテ從來蕃地ニ航海スル水夫ノ受タル暴害ヲ避ケン
トノ機ニ出テタルモノニテ其中海陸大ニニ武功ヲ顯シ其雄傑衆目ノ確乎タルヲ證セリ
將來ニ於テモ内國政体最高妙ヲ極メ又大事件或極難ノトアルニ臨シテハ政府最良ノ處分

ラシヤト衆一言ノ間然スルナキヲ信ス所以如
何トナレハコノ己ニ充分成效ヲ得タル蕃地遠
征ノ商議ニ於テ明良タリ

蕃地遠征ノ機ハ日本ノ武備文事ノ襄成ニ由リ
大ニ國ノ武名ヲ輝シ名望ヲ徳通シ又日本帝國
政府ノ威名ヲ轟シ此ノ名譽ヲ以テ日出度昨年
ノ結局ヲナシタリ

余輩茲ニ想像スラク新年モ亦旧年ニ均シキ名
譽ヲ得ルヘキ政令アリテ當年ハ内國ノ理事ヲ
洗面レ教育ヲ進歩シ又公平ナル處分ニ服従ス

ヘキ法律ノ起原ヲ起サレント必セリ故ニ内外
人ノ差別ナク内地ニ居住スルノ人民ハ相互ニ
公平ナル保護ヲ受又同一ナル權利ヲ握掌スル
機ニ至ントヲ信セリ

千八百七十五年一月十二日

ジーダフリウヒール

北東

明治八年一月九日三條太政大臣島津左大臣岩倉右大臣ヨリ延遼館ニ於テ饗饌人名左ニ

西郷都督

河村海軍大輔

谷陸軍少將

赤松海軍少將

高柳参謀

佐久間参謀

樺山参謀

藩地事務局

補地頭

川崎副監督

岡林副監督

橋本軍醫正

桑田軍醫正

中島大尉

吉田大尉

横田大尉

三原大尉

古河海軍中秘書

石井中尉

日高中尉

高並少尉

福島少秘書

本島海軍大尉

磯邊海軍少佐

兒玉海軍大尉

鷹本林軍吏正

八等出仕立川千一

同原元貞

九等出仕末永守正

番地頭事務局

元徴集隊長坂元純熙

視察成富成風

都督府出仕相良頼善

吉田海軍大尉

福島軍吏副

山本軍吏副

大西軍吏補

屋島軍吏補

津留軍吏試補

樺山軍吏副

衆波田軍吏副

戸塚軍醫

木村軍醫

田中軍吏試補

山田軍醫副

佐藤劑官副

畠山軍吏補

安東軍吏補

蕃地事務局御用掛

蕃地事務局

新編 皇朝 通志

海軍大佐林清康

外務少丞平井希昌

大蔵少丞岩橋輟輔

権少内史野口常共

租税権助横山貞秀

大蔵七等出仕河籾齊

正院七等出仕長沼熊太郎

御雇外国人

シリ。ダブリユ。リゼンドル

ジ。ボアソナー ト

ドグラスカツセル

アル。ゼー。ワツソン

特命全権公使柳原前光

陸軍大佐福原和勝

外務四等出仕田邊太一

三等議官高崎正風

租税助吉原重俊

内務五等出仕岩村高俊

権少内史金井之恭

皇朝 通志

北地事務局

内務七等出仕池田寛治

司法七等出仕名村恭蔵

同 井上毅

開拓七等出仕小牧昌業

外務一等書記生橋口宗儀

内務権大録萩原友賢

同 川村正平

八年一月十日

施行 (内山)

大隈参議 (大隈)

御用掛 (轍輔)

(常其)

(河鱈)

辨理局 (金井)

品川領事一御回答案

第九十六号十二月三十日ヲ以清兵生蕃人

ト戦争之旨新聞紙被差越致具承候猶向後

異状有之候ハ、為心得承知致、度候此段

審地事務局